



旧山手通りを中心とした活動の意見交換会

2017年1月28日にクラブヒルサイドにて「旧山手通りを中心とした活動の意見交換会」が行われました。

旧山手通りの地権者の方々に意見交換会へのご出席をご案内し、株式会社SO-TWO 社長補佐 寺本哲也さん、代官山蔦屋書店 店長 松下昇平さん、株式会社アートフロントギャラリー 坪井みどりさんにご参加いただきました。この意見交換会は、旧山手デザイン会議の一環で、はじめに主旨「旧山手通りを(ヨーロッパやアメリカにあるような)人が中心となった世界レベルに盛り上げていきたい」

を、お伝えし、①2017年に撤去予定の『猿楽歩道橋』の報告 ②旧山手通りのガードレールや植栽について ③パークレットについて(2016年/アペリティフ365でギャルソンレース)等の意見交換が行われました。



代官山哲学カフェ — いいまちって、どんなまち —

2017年3月11日クラブヒルサイドにて「哲学カフェ」が行われ、23名の方々にご参加いただきました。

今回は、書籍『まちづくりの哲学:都市計画が語らなかつた「場所」と「世界」』を読んで頂いた方々と、著者である蓑原 敬さん、宮台真司さん、ファシリテーターとして永井玲衣さん、代官山ステキなまちづくり協議会の野口浩平さんとの対話となりました。



- ・「安心/安全/便利/快適」の価値について、それを越えた本当に大事にする意見は言葉にならないところにあるのではないかと。絶対的な幸せは立場に寄って違うこと。
- ・自分がどこが好きかのポジティブチェックをするそうすると意見は一致する。課題になった瞬間にみんなバラバラになる。
- ・自動機械=オートマTONにならず、マニュアルでローにちゃんと入れられるような代官山でいられることがよいのではないかと。
- ・共通感覚は言葉では難しく、いかに共同作業して行くか。
- ・記憶に残るまちを継承してゆく。
- ・どのように折り合うのか、同意形成は楽しさの中に見出せるのではないかと。
- ・理不尽な合意/理不尽な体験をいかに対峙するか。
- ・みんなでじっくり話をすると(話し合うと理想的な条件を)みな想像できると言うこと。ある決定を妥当にする、それが社会の条件を整える。
- ・言語化はその人の体験の蓄積でありそれぞれ違いがある。

上記の対話があり、みなさま「まちづくりの哲学」について同じ時間を共有し考えることができました。

代官山春花祭2017

2017年5月4日～6日に今年で11回目になる代官山春花祭が開催されました。『代官山春花祭2017』では、代官山で暮らしている(住んでいる、働いている)人よりマルシェやライブ、ワークショップ、展示イベントが行われ、代官山を訪れる方々に楽しんで頂きました。参加者や運営者の方々につきましては『代官山春花祭2017』という共同作業を進めるにあたりそれぞれ交流もあり、「代官山らしさ」や「都市の洗練された生活」を感じ、その独自性や居心地の良さを体感することができました。また、ひまわりガーデン代官山では、ひまわりの「タネ植え」も行われました。今後、8月「鑑賞会・花火大会」、9月「収穫祭」を予定しております。

